

平成20年10月7日

国土交通省道路局長 様

津別町長 佐藤 多一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので宜しくお取り計らい
願います。

道路整備にあたっては、全国一律の構造ではなく地域の実情にあった構造にするなど、計画段階から無駄を排し、総合的なコスト縮減を行うべきである。

高規格道路の建設も必要と考えるが、新たに建設するばかりでなく既存道路の維持管理を行い有効活用をするべき。

北海道のような積雪寒冷地帯において、鉄道が無い地域において道路は生命線であり、他の地域とは一律に比較できないものがあり、そういう点も考慮しながら道路整備を進めてもらいたい。

今後の道路行政についての意見・提案
地域の現状と抱える課題

様式

北海道津別町

○現状

災害対策として道路、河川の光ファイバーを設置して整備を進めている。

橋梁整備点検について、地方公共団体の財源的に厳しい

国道240号線はトレーラー等大型車輛の通行が多く産業道路の様相を呈している。オーバーレー等維持管理をしているが、大型車交通が多いため道路の傷みが早く、雨が降ると道路の凹みに水がたまり、乗用車の運転は非常に危険である。

本町においては特別豪雪地帯であり、道路が他市町を結ぶ生命線である。冬期間の道路は滑りやすいため、道路の維持管理、道路材の改良等安全対策に配慮願いたい。

○課題

- ・ 通信回線の不足している地域に対する開放
- ・ 情報通信基盤を多機能に利用できる体制の確保
- ・ 補助制度の見直し
- ・ 定期的な補修と維持管理の高度化の推進
- ・ 冬期路面对策の推進
- ・ 道路材の改良等による安全対策

- 2 地域の目指すべき将来像

北海道津別町

平成20年度中に「住生活基本計画」と「地域公共交通総合連携計画」を策定するとともに平成22年度からスタートする「津別町第5次総合計画」の策定を現在住民代表とともにワークショップの形式で進めている。

これらの計画と道路との関連は特に高齢化社会に対応するバリアフリー化と町なか居住に対応する町内を縦貫する国道240号線の歩道の整備と美化である。財源は限られているが住民の合意を得ながら取り進めることにより、この町の将来像を共有することができる。これら三つの計画の実現に向けて国の道路行政の支援・協力を願いたい。